

ネイティブ豚グルタミン酸-ピルビン酸トランスアミナーゼ

Cat. No. NATE-0068

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アラニン転移酵素 (ALT) は、転移酵素 (EC 2.6.1.2) です。アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALAT) と呼ばれ、以前は血清グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素 (SGPT) または血清グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素 (SGPT) と呼ばれていました。ALT は血漿およびさまざまな体組織に存在しますが、最も一般的なのは肝臓です。ALT はアラニンサイクルの2つの部分を触媒します。血清ALTレベル、血清AST (アスパラギン酸転移酵素) レベル、およびその比率 (AST/ALT比) は、肝臓の健康のバイオマーカーとして臨床的に一般的に測定されます。これらの項目は血液パネルの一部です。

別名 アラニン転移酵素; ALT; EC 2.6.1.2; アラニンアミノトランスフェラーゼ; ALAT; グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素; グルタミン酸-アラニン転移酵素; GPT; β -アラニンアミノトランスフェラーゼ; アラニン- α -ケトグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; アラニン-ピルビン酸アミノトランスフェラーゼ; グルタミン酸-ピルビン酸転移酵素; グルタミン酸-ピルビン酸アミノトランスフェラーゼ; L-アラニンアミノトランスフェラーゼ; L-アラニン転移酵素; L-アラニン- α -ケトグルタル酸アミノトランスフェラーゼ; ピルビン酸転移酵素; ピルビン酸-アラニンアミノトランスフェラーゼ; ピルビン酸-グルタミン酸転移酵素

製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
形態	タイプI、クエン酸塩および酢酸塩を含む凍結乾燥粉末; タイプII、硫酸アンモニウム懸濁液、1.8 M (NH ₄) ₂ SO ₄ 溶液中の懸濁液、pH 6.0。
EC番号	EC 2.6.1.2
CAS登録番号	9000-86-6
活性	タイプ II, > 75 ユニット / mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 7.6、37°Cの条件下でL-アラニンの存在下で1.0 μ moleの α -ケトグルタル酸をL-グルタミン酸に換えます。

保管・発送情報

保存方法 -20°C